IPL（光治療）でドライアイ治療を始めました

日本では 2200 万人以上が罹患しているとされ、現代病とも言えるドライアイですが、「眼が疲れやすい」「なんとなく眼に不快感がある」などの症状があり、いわゆる「疲れ目」の原因となります。

スマホ、パソコン、テレビなどに囲まれて眼が酷使される現代で、「疲れ目」は仕事だけでなく日常生活でも不便をもたらします。

ドライアイの原因として重要なのは、涙の量の問題より、涙の質（油分の不足）の問題であるということがわかってきました。瞼の炎症やマイボーム腺（瞼のふちにある腺組織）の詰まりにより、涙液中の油分が減少して涙が眼表面にとどまりにくくなっているのです。

このような場合には点眼薬による治療だけでは不十分です。

この度、ドライアイなどの治療のため、当院眼科に IPL（Intense Pulsed Light）治療器、AQUA CEL（アクアセル）が導入されました。

IPL 治療はこれまで皮膚科や美容皮膚科領域で使用され、長期にわたって安全性と効果が証明されている治療法で、最近は眼科領域にも応用され、ドライアイやマイボーム腺機能不全への治療が行われるようになってきています。

IPL 治療により期待される効果

1. 抗炎症作用
2. 温熱効果によりマイボーム腺の油を融解して詰まりを解除する
3. 感染、炎症のもとになる細菌叢の減少
4. 熱刺激によるコラーゲンを再構築してマイボーム腺機能を修復する

これらの作用によりドライアイやマイボーム腺機能不全を改善させます。またマイボーム腺の慢性炎症が原因で起こる霰粒腫（めいぼの一種）に対しても、切らない治療法として注目されています。

施術時間は5～10分程度で、痛みはほとんどありません。3～4週間おきに計4回が1クールの治療となっています。治療は自費診療で行われます。

治療をご希望される方、興味のある方は、眼科医にお尋ねください。

（眼科部長　榎　美穂）

小郡第一総合病院　〒754-0075 山口県山口市小郡中央通8番11号 TEL 083-972-0333